

令和2年度 第1回日出町総合教育会議 会議録

日 時 令和3年2月25日(木) 14:00～

会 場 日出町役場 331会議室

出席者 (日出町) 町長 本田 博文

(日出町教育委員会)

教 育 長 堀 仁一郎

教 育 委 員 菅 英 一

(教育長職務代理者)

教 育 委 員 佐 藤 公 康

教 育 委 員 阿 部 雅 子

教 育 委 員 二 宮 誠一郎

(関係出席者) 総務課長、財政課長、政策推進課長補佐、住民課長、福祉対策課長、子育て支援課長、教育総務課長、学校教育課長、社会教育課長、文化・スポーツ振興課長、町立図書館長、学校給食センター所長

(事務局) 総務課

14:00 開会

発言者	内 容
総務課長	ただいまから令和2年度第1回日出町総合教育会議を開催させていただきます。 まず、本田町長よりご挨拶をお願いいたします。
町長	今日は少し寒くなりましたが、最近は日中の暖かさが春の近づきを感じさせてくれるようになりました。 年度末を控えたお忙しいなか、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 日頃より、皆様には、教育分野をはじめ、町行政全般にわたってご理解ご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。 総合教育会議は、教育、学術等に関する、教育大綱の策定、そして、教育のために重点的に講ずる施策等について、町長と教育委員会とが協議する場ということで設けられております。 日出町教育大綱は、平成27年度に策定されましたけれど、期間が29年度までということでございまして、新たな大綱の策定が必要となっております。 本来なら、これまでの間に、大綱策定のための総合教育会議を開くべきでありましたけれども、今日になったことをお詫び申し上げたいと思っております。 平成27年の大綱策定から、5年半が経過をいたしまして、その中で教育を取り巻く状況は大きく変化していると思っております。 直近では、新型コロナウイルス感染症の影響です。 これまで、想定してなかった感染症の蔓延ということで、そのことが学校現場に大きな影響を与えていると思っております。 こうした感染症から児童生徒を守って、その安全を確保し、安心して、教育に、学習に取り組める、そういう環境の整備が求められていると思っております。

	また、デジタル教育の推進も求められております。 これは、そもそもは教育界の課題でありましたけども、感染症の蔓延で、児童生徒を守るために、リモートによる学習を検討される中で、学校のＩＣＴ化が一気に進むという状況になりました。 そういったことで、生徒全員にタブレットが配備されようとしておりますので、これからそのデジタル教育、大きな課題になってくるんだろうと思っております。 このように２つ挙げましたけども、５年半で大きく変化をしてきております。 そうしたことから、この度この会議を開催した次第です。 今回、２７年度に策定した大綱に基づいて、これまで行ってきた施策の検証を行って、次の大綱に向けての議論をお願いしたいと思っております。 皆様がそれぞれの立場からのご意見をよろしく願いを申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。 どうぞよろしくお願いいたします。
総務課長	ありがとうございました。 続きまして、教育委員会を代表して、堀教育長にご挨拶をお願いします。
教育長	それでは改めまして、こんにちは。 まず、こういう会議を開いていただいてありがとうございます。 私ももう何十年教育行政現場に携わってきましたけど、なかなか多様化する教育現場で、教育だけで解決できない問題がここかなり増えたと思っております。 そういう意味では、首長部局と連携しながら、より質の高い教育を実現するようにやっていかなければいけないと思っているところであります。 いろんなご意見を今日聞いてですね、日出町の教育に生かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
総務課長	ありがとうございました。 この総合教育会議につきましては、町長と教育委員会の構成員の皆様で構成するということですが、各種説明のために、町長部局、教育委員会部局の所属長と事務局であります総務課の職員が参加をさせていただいておりますので、ご了承いただきたいと思います。 それでは、続きまして総合教育会議等の説明を事務局の方からさせていただきます。
事務局	日出町の総合教育会議設置要綱について説明 教育大綱と教育振興計画について説明
総務課長	ただいま、事務局から、総合教育会議等について説明を申し上げましたが、何かご質問等があれば、お受けしたいと思います。 制度的なところではよろしいでしょうか。 (委員から「はい。」の発言あり) ありがとうございます。 それでは続きまして、協議に移らせていただきたいと思います。 協議につきましては、要綱に基づきまして、町長に議長を務めていただき、進行をしていただきたいと思います。 町長、よろしくお願いいたします。
町長	それでは、しばしの間、進行を務めさせていただきます。

	本日、協議事項はその他を含めて、3つ用意しております。 まず、最初の日出町教育大綱に基づくこれまでの取組について、説明をお願いします。
学校教育課長	取組み内容について説明
社会教育課長	取組み内容について説明
文化・スポーツ振興課長	取組み内容について説明
町長	只今、これまでの教育大綱に基づく取組について説明がありました。 平成27年度の教育大綱は、基本目標の下に3つの基本方針を掲げておりまして、その基本方針ごとに4つから5つの主な取組を掲げております。 その主な取組の内容について、ただいま説明があつて、基本方針、基本目標から含めてですけども、基本方針、基本目標の内容とそれからそれぞれの取組について皆様のご意見をお聞きしたいと思っております。
菅委員	ちょっと伺いたいのですが、今、町の方の総合計画を検討されています。 そこでは、それぞれの、教育なら教育の分野で、最終的に具体的な指標を示して、達成指標があつて、数値的な目標が示されているじゃないですか。 この教育の計画との何か関連みたいな、そのつながりみたいなものは。
町長	総合計画と教育振興計画のことですか。
菅委員	27年まではこんな感じで3つあつて具体的なものがあるではないですか。町の総合計画にも具体的なものがでているが、その関連は。
町長	もちろん総合計画を踏まえて教育振興計画があるのですけども。 総合計画について政策推進課、説明をお願いします。
政策推進課長補佐	本日、政策推進課長が公務のため、私課長補佐の大塚と申します。よろしくお願ひいたします。 総合計画につきましては、ご存知のとおり、まちづくりの最上位計画となりますので、まず総合計画があつて、教育の振興計画があるということでその整合性はきっちり保たれるように、素案を策定している状況です。
町長	教育委員会側は、総合計画を踏まえた、作り方という部分では、また別にありますか。
教育総務課長	教育振興計画も、一昨年策定しまして、7年計画で編成をしたところであります。 先ほど菅委員からお話ありました、数値を設定して目標を定めているところではありますが、年を追うごとに環境が変わって参ります。 そういったところで、教育振興計画も、年度年度で見直す必要があるというふうに考えておりますので、今回、新しい総合計画ができましたら、教育振興計画につきましては、一度見直しをする必要があるのかなと思っております。
菅委員	総合計画で話し合っていることとかリンクして、先ほどお話があつたように、教育環境、いろいろ、前のものを作ってから変わってきていますよね。 そういうところをタイムリーと言つては変ですけど、見直していつてもらつて、先につなげていくということ。
町長	いま、後期の総合計画を見直す中で、まさに新たに出てきたものとしては、先ほど申し上げた、感染症、前期というか最初に作ったときにはそのことはもちろんありませんから、新たに出てきた課題というところで、顕著な例としてはそういったものがあります。時代の変化に応じたところで、私がちょっと今回、今の教育振興計画を拝見した中では、ICTの関係もありますね。あのと

	きはまだ緩やかな目標というイメージだったのですが、もうたちまち一気に完成形になってしまったというところで、おそらくこれも変えていかなくてははいけない。 時代の変化といいますか、過ぎてしまった目標になっていますから、これから、ハードの整備ということじゃなくて、ソフト環境というか、使い方の部分に入っていかななくてはいけないのだろうというふうに、今回、教育振興計画をみさせていただいて、時代が、特にコロナでいろんなことが変わってしまったというところがおそらくあるのだろうと思います。
佐藤委員	I C Tに関してもそうですが、どんどん変わっていつている中で、27 年度で止まっているので、大分、時代に遅れた状態です。もう今の状態にあった、生命の危機とか、身体の保護とかこういった部分っていうのはやっぱりコロナであれば重要です。I C Tは本当に一気に進みすぎて、我々も定例会で聞くけど、最初は、タブレットを配布するところから、一気に配布したところから今度、家庭に持って帰るっていう形、その進み方が早くて、どういう形をとるのかもわからない状況ですし、やっぱ時代に合ったものを早い段階で策定して欲しいなと思います。
二宮委員	考え方を一点確認したいのですが、今の大綱が、対象年度 27 年度から 29 年度まで 3 年間ということが明記をされておりますけども、29 年度以降、今時点、この、この大綱はあえて改訂という形をとっていないけれども、今現在まだこの大綱は生きていて、これに沿って、取組を今現在行っているという位置付けなのか、今現在はもうすでにその大綱が存在しないので、新しくその大綱を定めるという位置付けなのか、というのが、さっき経緯の報告の中で、例えば、資料 3 の 1 ページ目に元年度数学と英語、2 年度数学の習熟度別指導推進教員を配置しましたとして、29 年以降の年度の分がここには経緯として挙げられておりましたので、今、まず、今現在この大綱、形の上では切れてるけども、町として、この大綱に沿って、今現在の活動、考え方の、要するに拠り所としているという位置付けになっているのかどうか、まず最初に確認をしたかったんですが。
総務課長	形の上では、もうきれております、失効しておりますので、30 年の時点で新しい大綱を定めるべきだったということと思っております。 ただ、教育振興計画は、総合計画等を参考にしながら策定し、それをもとに、今現在は、教育振興を図っているということです、大綱自体に拠り所を持つてはおりませんが、振興計画を参考にしながら、教育の振興を進めているという状態と考えています。 総合計画の方が、今年の 6 月をめどに、後期計画、今見直しをしているその結果を反映しての大綱の設定ということです。ちょうど見直しの時期が合致しないような形になっておりますので、そういった形で設定できればと考えているところでございます。
二宮委員	今この位置付けというのは受けまして大変わかりました。 あと、今、取組についてのご報告いただく中で、これはもう感想というレベルの話になりますが、これは、大綱の目標の中で、最初の目標のところ、学校や家庭・地域において、主体的に学習し、という、項目が挙げられております。やっぱりその教育に取り組むうえで、教え育てるということじゃなくてやっぱり、その子供たち、あるいは大人であっても、主体的に学習することを行政や地域が支えていくというスタンスはやはり教育の基本的な形だろうと

	思います。 この主体的に学習しという項目を受けまして、この報告の中での、考え、議論する道徳となるようにという取組をしてきたとか、あるいは、基本方針の2に関しますと、自らの意思で生涯にわたって学習し、それを生かせる環境づくりを支援するという、本人たちの主体性を大切にした取組をこれまでしてきた、というご報告をいただきましたので、大変うれしく思っているところです。
町長	今日のそれぞれの取組説明、投入量の説明だけで、結果の数字をちょっとお示しができなかったのですが、先ほど二宮委員の質問に事務局から説明がありました、確かにもう29年度までということで、現実には切れている。 ただ、30年度からの教育振興計画は、前回大綱をほぼ踏襲している。 この間、教育振興計画の中でやってきたことはですね、これまでの時代としてはまだ合っている。各時代の課題とか、それに応えているという意味ではですね。 大綱は切れているけども、引き継がれているのではないかなと。 私は、今回改めて勉強しなおして、そう感じたところです。 ただ、もうここで大きな変化があったということで、教育そのものはもう教育委員会の仕事ですが、それに対する重要な施策とか予算づけとか、そういったところは、私どもの仕事ですから、そこをうまくマッチングするような大綱になっていかなければいけないのだろう。 今日は、これまで大綱の取組のご説明を申し上げ、ご意見をお聞きしましたけども、次の大綱を作るにあたって、私どもの方から今日のご意見とか、これまでのいろんな新しい事象を踏まえた中で、事務局で案を考え、お示ししご議論いただきたい。 教育長、何かご意見ありませんか。
堀教育長	実は、私が就任したとき、教育大綱が切れて、教育振興計画の1期が終わったのです。 町長がおっしゃったように、それが大綱を見たときにこの数年で変わって、その当時はまだこの大綱ですね、すべて見直すほどの内容でなかったこともあるので、例えば習熟度別にしても、コミュニティスクールにしても、やり始めて、今から充実させなくてはならない時期が重なったものですから、だからその、ここにある第2期の教育振興計画だけを、各課長にお願いして、改訂をしていただいて、それをもとに、今現在来ているという、まさに町長がおっしゃっていただいた。 しかし、その後どうしなければいけない方も町長が全部おっしゃっていただいた。 ギガスクール構想でも、今日の定例教育委員会で実はどうするのかといういろいろ出て、そういうコロナの関係で変わってくる面があるから、それをいろんな形でお伺いして来年以降に生かして、やっぱり連携してやっていかなきゃいけないというような状況だと私は把握しております。
町長	今回は何かの形を示していけるのではと思っておりますので、また、議論をよろしくお願いします。 それでは、協議事項2の新大綱の策定についての部分。
事務局	新しい教育大綱の策定について説明 町の総合計画につきましては、28年度を始期として、10年間の計画になっており、令和2年度までの前半5年分、令和3年度からの後半5年分というの

	は、それぞれ前後期の基本計画として定めるものであります。 教育大綱につきましては、先ほどのお話のとおり 29 年度末をもって、右下対象期間は終了しております。 教育振興計画につきましては第 1 期が 29 年度までとして、30 年度から第 2 期振興計画として、こちらは内容的には、町の総合計画に基づく形で、基本的な取組に施策の方向性等を記載しております。 今回、地方教育行政組織法の規定に基づいて、本町の教育の振興に関する施策の大綱として、また教育行政の基本的な指針を定めるものとして新たに日出町教育大綱を策定させていただきたい。 素案の協議が整い次第、総合教育会議の場で、教育大綱を定める旨の確認をしていただいて、日出町教育大綱として、新たに策定をさせていただきたいというふうに考えております。
町長	大綱の策定方針、策定フローの説明がありました。 この後関係課で協議し、煮詰まり具合で一緒に考えていただき、という形になっています。
佐藤委員	はい。1 個いいですか。 今度新しいものを作る中で素案を作られると思うのですが、その中でできれば日出町にしかないような特色的なものとかですね、教育に関することでも文化財でもそうですが、一般的なものではなく、これを読むと地域の特色を生かした形を入れていただければと思います。 大神地区で言えば、子供が減っていますし、子どもが増えているところもあります。その全体を見て、日出町のこれはいいな、なんて、今学力もずっと伸びていますし、その辺、また考えて、素案に入れていただきたいと思います。
町長	確かに日出町のいいところ、町外から見えた方、転勤で見えたり、移住して見えたりした方からですね、日出町の子は礼儀正しいと特に言われます。よくあいさつしますねと。 それから県下全体で見たとき子供会の組織率、比較的高い。その地域の繋がりが深いということですね、そういったところもちろんありますので、日出町らしさですか、その辺を考えていきたいと思います。
事務局	今後の総合教育会議の開催について説明します。 少なくとも年 1 回の定期的な開催、重要案件が生じた際にはその都度、開催。
町長	逆に、教育委員会からこの場を持てるように、予算担当部局と一緒にこう考えて欲しいというような、そういう要望があれば、その都度挙げていただいて、会議が開催されればと思っています。 いじめとかですね、幸い日出町ではほぼ教育委員会で対応できる内容でしょうけど、これは話が大きくなった時には、やっぱり行政の方も一緒に考えることも当然あるでしょうから、テレビ等でもそういう場面も見てきていますから。 教育委員会だけでは解決が厳しい部分は、行政部門も一緒になって考えていく必要がある。 この点、ご意見はよろしいですか。 はい。教育総務課からは何か。
教育総務課長	3 点についてちょっと状況報告をさせていただきます。 1 つは、ギガスクール構想の進捗状況でございます。 児童生徒 1 人 1 台タブレット、それから、高速大容量のネットワークを学校

	に整備する。それから、モニターを普通教室に1台。それから各家庭においてインターネット環境にない世帯につきましてはモバイルルーターを貸与するというような事業を考えて今進めているところです。 タブレットにつきましては、3月中旬に学校の方に納品できる予定になっております。現在、事業者の方で、タブレット、スタートアップできるような設定をしていただいて3月中旬納品の予定です。4月から、児童生徒1人に1台、タブレットが渡されて、授業等で活用していくという段取りになっています。 それから学給食センターの工事の状況でございます。 現在センターの屋根ができて、外壁もできております。 それから、内部でも配管工事をしておりまして、現時点では間仕切りも設置をしているという状況でございます。計画どおりに概ね進んで、6月末の完成に向けて工事を進めているというような状況でございます。 それから、3点目でございますが、公立幼稚園のあり方検討委員会の状況であります。 2月19日の金曜日に、委員11名、集まっていたいて、教育委員会事務局とともに、今後の幼稚園のあり方についてお話をさせていただきました。 第1回目は、日出町の乳幼児の取り巻く状況について、それから、町立幼稚園の現在の状況について、お話をさせていただいたところです。 現状の課題を委員さんとも共通理解を図って、今後のあり方について協議を進めていきたいというふうに思っております。 今後のスケジュールとしまして、令和3年度の5月、それから8月、来年度2回ほど、この委員会を開催する予定で、その中で、幼稚園のあるべき姿、公立幼稚園の役割、それから先進的な取組を行っている市の状況を参考にしながら、将来構想について事務局から提案しながら、ご意見をお伺いしたいと、こういうふうにしております。 まだ来年度まで引き続き、このあり方検討委員会については、協議を進めていくというふうな方向性が現時点では出ております。
町長	いま、教育総務課から3点ほど説明しましたが、質問等はありませんか。給食センターは、ご覧になられましたか。
佐藤委員	福祉センターから、ちょっと1回見させていただいて。工事中だったので、入れなかったですけど。
町長	教育長、時間を調整して現地に。 では、用意されていた協議事項は以上ですけど、実はこうやって私も教育委員さんの中に入っていっしょにお話するのは初めてですから、この際、聞いておきたいこととか、言っておきたいことがありましたら、どうぞ。
佐藤委員	先ほどの幼稚園の件もそうですけど、子供園と幼児無償化になりましたね。だからそれはどうなるのかなというのは、私の中でもありますし、幼稚園には幼稚園の特性もあるし、子供園には子供園の特性もある中で、どっちがいいのかってわかんないですけども、それはどうなるのかとは思っています。 幼稚園の数も減って、児童数が減っているじゃないですか。 だからそこで受けられる教育もまた変わってくると思うのですね、先生の数も少なくなってきましたし。 そういったのが今後見えているのかなっていうのと、日出町でいえば大神小学校も本当に今子供が少なくて、中学校なんかは数が少ないので、先生の配置が正しくないとは私は思っている。

	だから、そのちゃんとした教科担任制ではなく、そこにいる臨時の先生が、美術を教えたりとか、体育の先生が美術を教えたりとか、音楽の先生が家庭科教えたりとか、やっぱり日出中とその差が出ているんじゃないかと私は思っているんですよ。 やっぱり美術はしっかり美術の先生が教えてくれれば、それなりの教育ができると思う。 だから付け焼刃じゃないけど、体育の先生が美術を教えても、やっぱりなかなかそこは差が出るのかなと思ったりしていますね。 一番いいのは、子供が増えてくれるのが一番いいのですが、そこはそういう形ではないので、どんどん減っていったって、小学校なんかも1クラスしかない状態でぎゅうぎゅうじゃないですか。 そういった部分がまだ解消されれば、目の行き届く教育もできるし、あと先生もまた臨時の先生とか、もうちょっと増やしていただければね。 日出町としての、何かそういう対策を打っていただければ、県がしてくれない部分を補助してもらえれば、教育がもっと進むのかなと思っています。
町長	確かに幼保無償化、あれはどうなるのか、幼稚園にくる子がいなくなるのかと思ったら、そうでもなくて、やはり、町立幼稚園の力というものをおそらく評価されているのだと思う。 だから、そこはちょっと安心した部分ですけども、将来にわたってどうかというと、子どもの数も減ってきていますし、特に、今年度、コロナの影響で出生率も落ち込んでいますから、先行きがいろんな形で不透明なところもありますので、出生率から見ながら、将来の児童数を計っていかないとと思っています。 それに、教員不足というのは、なり手が無いっていうか、採用がとて多くて、それに応募が、競争率2倍とか、かつてから考えられないような、低率になってきていますね。そのぐらい先生になろうとする人が減ってきている。仕事として魅力がなくなっているのかなと思う。 やっぱりスピリッツのある方が、教育っていうのはね、教育に思い入れのある方がしっかりいっぱい受けてもらって、いい教育ができるので。 そういう現場になってくれるのが一番好ましいと思います。
佐藤委員	二極化しているじゃないですか、大規模校と小規模校みたいな状況になってきている。それもそれでですね、どうなのかなというのもあるし、その辺変わっていかばいいなと。 町出身の先生が増えていったら、今の時にこう手を打って、そういう人たちを育ててあげれば。また帰ってくる人が増えてくるのではないですかね。
町長	今日に限らず、次回でもその次でも、何か思いついたことがありましたら、ざくばらんに言える場にさせていただいて、意思疎通を図りながら、日出町全体が良くなればいいと思います。
総務課長	先ほど、協議の中でもありましたように、次回開催につきましては、大綱の案の作成など整いましたら、委員の皆様方にご案内をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 それでは以上で、令和2年度第1回1町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

15 : 10 閉会